



農業の事業承継について

最近、事業承継という言葉がさまざまな業種で聞くようになりました。

農業分野でも法人経営が増えていますが、日本の農業の98%は家族経営とされており、大部分が家族経営で運営されています。家族経営の農業の場合、事業承継にあたっては、親から子へ引き継ぐのが一般的です。

家族だからこそ話し合いが曖昧になり世代交代が進んでいないのが実際です。

身内だけで話をしても平行線になりやすく、解決しない場合もあります。

地域の農業や家族経営に詳しいJAなど第三者も交えて話を進めていくなどすれば、話し合いがスムーズに行く場合も考えられます。

TACでは事業承継についての対応をしておりますので連絡下さい。

事業で継ぐものとは

- 資産承継
 - ・「モノ」農地、農業機械、農業設備など
 - ・「お金」現金預貯金、契約書、共済など
- 経営承継
 - ・「人」栽培技術、取引先、地域、従業員など
 - ・「情報」経営理念、農家としての誇り、家や地域の歴史
 - ・「顧客」顧客名簿、生産者としての信用、ブランド力など

親元就農するメリット

- ・土地、農業機械、設備などを引き継ぐことで初期投資を抑えられる。
- ・栽培技術のノウハウを受け継ぐ、地域の信頼、顧客などを引き継ぐ。
- ・長期的な視点で経営判断ができる。

若手農業者・後継者育成支援(TAC)

青年農業者育成支援事業(湯沢市)として10月に若い世代による農事講演会で講演いただいた千葉県株式会社アグリスリーへ視察研修を実施しました。



収入保険制度について

- 収入保険の加入申請が平成30年秋より始まります。
 - 収入保険と農業共済、ナラシ対策、野菜価格安定制度等の現行の農業補償制度との選択制になります。
 - 掛け金や補てん金を比較できるシステムができました。
- 収入保険と現行の農業災害補償制度の掛け金や補てん金の試算ができますので試してみたいはかがでしょうか。

NOSAI 秋田 収入保険の加入シュミレーション

(<http://www.nosaiakita.or.jp/~akita/syuunyuu/index.html>)